

地域に愛されて、50周年！



青南だより

平成29年9月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜環境による教育のために＞

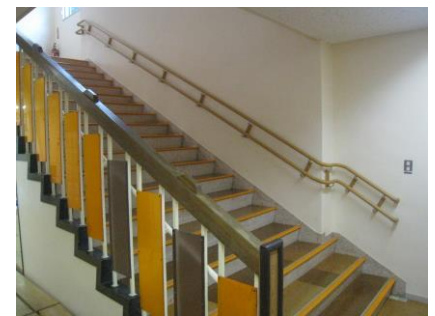
4月以来、主事さんを中心に環境美化や手入れを強化してもらっていました。安全や情操教育のためにも改修希望を施設整備担当の方々にお伝えしていました。お陰様で、痛みや劣化が目立っていたフェンスのオブジェの撤去や、遊戯室、玄関から一階廊下の壁面などのペンキ塗り替えや壁紙の張替えを夏休み中にしてもらうことができました。50周年の式典も、きれいな遊戯室で子どもたちの姿を披露できそうです。感謝しながら、丁寧に使っていきたいと思います。



遊戯室は天井、壁、床までピカピカに！

＜佐々木洋さんのワンダーランド＞

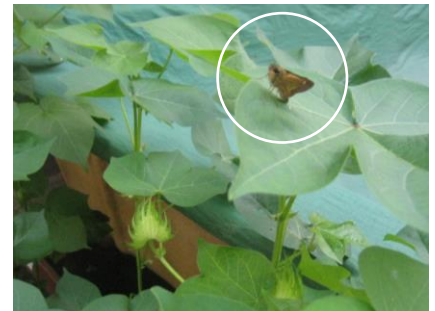
6日(水)の心を育てる公開講座では、プロナチュラリストの佐々木洋さんに「自然は子どもの先生です」と題して講演をお願いしています。テレビやラジオなどでもお馴染みの方ですので、ご存知の方も多いかも知れません。都幼教の夏季研修会の講師として、今年もお世話になりました。私にとっては担任時代からの師匠でもあります。秋になるとよく見かける「イチモンジセセリ」の別名はロケットチョウ。さて、なぜロケットなのか？今度子どもたちと実験してみますので、お楽しみに…。



1階廊下から階段まできれいに塗り直し

＜研修の夏を終えて＞

夏休みは、研修や環境整備などをする大事な時間です。主事さんはワックスがけ、靴箱のペンキ塗りなどをしてくれました。先生たちも他園の先生たちとの研修によって自分の保育を見直し、高めてきました。私もPTAの全国大会など、多くの研究会に参加し、各地の教育関係者の方々と交流し、その地域ならではの文化や自然などを生かした保育がしっかりと実践されていることを強く感じてきました。青南では青南らしい保育を創り出していくことを改めて大事にしたいと思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



プール横の綿の葉っぱにとまるイチモンジセセリ

青南の 二十四節気

・・・長月（ながつき）・・・

白露（7日）… そろそろ秋の空気に入れ替わります …

秋分（23日）… 暑さ寒さも彼岸まで、といいますが …

青南幼稚園の園庭にも、セミが這い出してきた穴がたくさん開いています。この夏は、梅雨明けまでが酷暑で、逆に8月は記録的な日照不足で、太陽が恋しい日々が続きました。このところ朝晩は涼しい風が吹き始め、草むらから秋の虫の音が聞こえるようになりました。この虫の音で季節の移り変わりを感じられる日本人の感性の素晴らしさ…、大切にしたいですね。



サイエンスショー、空気砲の実験にびっくり！



親子運動会は第二屋外運動場で！
（写真は昨年練習風景）